

## 荒木 晋太郎 個展

ARAKI Shintaro solo exhibition

## なぎの舟

Ship of NAGI

KUNST ARZT では、初となる

荒木晋太郎の個展「なぎの舟」を開催します。

荒木晋太郎は、空想の生き物の絵によって、ゆるやかに人々の意識改革を模索してきたアーティストです。

現代では、ほぼ空想の生き物であった、3・11の津波によって目覚めた“古の水葵”の種を美術家吉田重信氏から受け取り、「水葵プロジェクト」として、独自のネットワークで日本全国に配布し、発芽、開花させてきました。

それは、原発問題を含めた3・11 備忘録ならぬ

“備忘花”であり、また慰霊の意味も内包しています。

本展は、同プロジェクトから生まれた絵画群です。

ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



なぎの舟」2019年

1978 長崎生まれ  
2002 東京学芸大学 教育学研究科 造形美術分野 修了  
2004- 京都拠点

< 個展 >

2011 全て月の下 (大阪/GALLERY wks.)  
2012 浮雲のパントマイム (大阪/GALLERY wks.)  
2012 がらもんず (京都/Spiner's)  
2013 がらもんず 2 (京都/cotoha)  
2014 雨時々雨 (京都/Spiner's)  
2016 Rain (京都/cotoha)

< 主なグループ展 >

2008 饗宴 (京都/ART SPACE 其の延長)  
2016 neko neko Rieko (京都/KUNST ARZT・東京/みうらじろうギャラリー)  
2019 いま、戦争の兆しに心いたむ美術家たちの作品展 2019 京都：沖縄  
(京都/ギャラリーヒルゲート・沖縄/沖縄愛楽園 交流会館・沖縄/南風原文化センター)

2019年10月29日(火) から11月3日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント / 展覧会コンセプト

空想の生き物をテーマに制作している。

空想の生き物は、人間の自然や社会との関りに欠かせない存在である。龍からゆるキャラまで、その幅は広い。絵を描くことで、空想の生き物を拵え、自然や社会との関り方を模索している。

一方で私は、2016年にクンスト・アルツトで開催された『フクシマ美術』で、美術家・吉田重信氏の「水葵プロジェクト」の展示を観たことをきっかけに、氏から水葵の種を譲り受け、2017年より同プロジェクトに取り組んでいる。それは、3・11の津波によって、地下に眠っていた種が発芽し開花した水葵を、育て広めることによって、震災や原発事故を忘れないための取り組みである。生態系への配慮という観点から、鉢植えて育てている。

現在水葵は、農薬などの影響により準絶滅危惧種。人の手によってその生存が危ぶまれている。それが、津波という大きな自然の力で目覚めたのである。このまるで空想のような存在に、絵を描くことで、もう一步踏み込んでみたい。

古代水葵は、水葱（なぎ）と呼ばれ、その名で万葉集にも詠まれていた。そして、東アジアにも分布する植物である。各地に設置した鉢を、古代から現代へ、福島から各地へと、水葵を運ぶ舟に見立て、展覧会のタイトルを『なぎの舟』とした。



「今は兆し」2019年  
キャンバスにアクリル F4 / 33.3×24.2 cm

絵具の偶然性に植物の形を合わせたもので、部分的に水葵の形を導入した作品。



「気配」2016年  
キャンバスにアクリル P8 / 33.3×45.5 cm

空想の生き物。茂みの奥に何かいそうな気配を醸す、草むらの主を描いた作品。



「宙に藪蛇」2019年  
キャンバスにアクリル S12 / 60.6×60.6 cm

水葵のフォルムを断片化し、再構築した際に現れた、浮遊する生き物を描いた作品。



「浮雲のバントマイム」2012年  
キャンバスにアクリル F10 / 53×45.5 cm

空想の生き物。雲を見て想像し、雪男をアレンジして描いた作品。